

岩手県立大学・高大連携事業 出張講義のご案内

岩手県立大学では、次のとおり「出張講義」を行いますのでお知らせします。

趣 旨 本学の教員が高校に出向き模擬授業を行います。この取組は、高校生が大学での学びに触れ、大学で学ぶことの面白さや、学問領域の深さや広さを感じ取り、進路選択について考える機会を提供することを目的としています。

申込方法 申込フォームにより期限までにお申込みいただき、締切後に一括して対応の可否を連絡します。



申し込みフォームへは、QRおよび下記URLよりアクセスが可能です。

(申し込みフォーム：<https://forms.gle/BYxHw7NKKFwb4B317>)

注意事項 下記①～⑦について、あらかじめご了承のうえお申込みください。

①本事業の目的は、高校生に対して大学の模擬授業をすることで進学意識の醸成に寄与することです。各種講演会等の講師派遣とは性格が異なります。講演講師を希望される場合は本学ホームページより「研究・地域連携本部について」のページをご確認ください。

(地域連携事業 <https://www.iwate-pu.ac.jp/contribution/renkeihonbu.html>)

②講義は、本学ホームページに掲載する出張講義メニューの中からお選びください。

③講義の時間は約1～2時間です。

なお、生徒入替で2コマ行う場合は、1コマあたり50～60分程度でお申し込みください。

④業者を通じての申込みは受付できません。担当される高校教員の方が直接お申込みください。

⑤謝金は不要ですが、旅費のご負担をお願いします。

※旅程や交通機関等については、事前にご連絡いたします。

⑥講義に必要な機材等は実施会場（高校）にてご準備をお願いします。

⑦本学の授業や行事等の都合により、ご希望に沿えない場合があります。

実施期間 令和8年6月～10月 ※土日祝日及び水曜日を除く。

受付期間 令和8年度中の実施については下記の期限までに**まとめて**受付いたします。

期限：6、7月実施 ⇒ 4/30（木）

8～10月実施 ⇒ 6/30（火）までにお申込みください。

問合せ先 岩手県立大学事務局 教育支援室 入試グループ（高大連携担当）

メール demae@ml.iwate-pu.ac.jp

電話 019-694-2034 / FAX 019-694-2035



地域に 未来に 多様なアートを

岩手県立大学
Iwate Prefectural University

令和8年度 岩手県立大学 出張講義メニュー一覧

令和8年4月8日時点

学 部	講義名	概 要	講 師
学部共通 (基盤教育)	大学で学ぶ	大学で学ぶことの意義はなにか、社会でどう役立つのか、高校までの勉強とはどう違うのかななどを、学部系統の違いも意識しながら解説します。	高等教育推進センター教員
	大学に必要な日本語リテラシー入門	大学入試でも課されることの多い小論文を題材にして、大学で学ぶ前提となる日本語リテラシーとはどのようなものか、どうすれば身につけられるのかを解説します。	
	数理・データサイエンス・AIの世界	「数理・データサイエンス・AI」は、これからのデジタル社会の基礎知識です。皆さんがどんな仕事に就くにせよ、どんな人生を歩むにせよ、その知識は必ず必要になります。この講義では、仕事や暮らしの中の数理・データサイエンス・AIについて学びます。また、デジタル社会の学びについて検討し、皆さんが大学で何をどう学ぶべきなのか、考えていきます。	
	大学を卒業してからの進路の話	大学で学んでから社会に出るといったことはどんな進路になるのか、高校を卒業してからの就職とはどう違うのかを本学の学部系統による違いも例示しながら解説します。	
	学校と教育を科学する	高校生の皆さんの主な生活の場である「学校」とは、いったいどのような場なのでしょう？また、「教育」とはどのような営みで、人間の成長・発達、そして社会や文化にとってどのような意義や働きを持つものなのでしょう？将来、教員や保育教諭、保育士など、児童生徒・幼児に関わる専門職を目指す方を対象に、このような問題を一緒に考えていきたいと思えます。	
	高校、大学、そして社会で英語を学び、英語で学ぶ	年間2回程度の連続した講義を通して、実用としてまた教養としての「英語」の理解を深め、高校での学習がこの先の進学や社会とどのように関連付くかを考える機会とします。高校卒業後も英語を学び続けることの大切さに気づき、自ら主体的に学習に取り組む力をつけることを狙い、本学で全学的に採用している TOEIC プログラムの紹介・体験も行います。英語学習の考え方やコツを知り、自分で目標を立て、計画し振り返るという学習のサイクルづくりを一緒に目指しましょう。	
看護学部	看護学部の紹介	学部の教育方針や大学生活、学部の特徴や実習、大学に入ってから学習や本学で取得可能な国家試験受験資格などについて紹介します。また、岩手県立大学看護学部を卒業した後の卒業生のキャリアプランの紹介や活躍の実際を紹介します。	学部教員
	看護学入門	看護学の専門性とは何か。現代社会における看護の役割や実践活動の具体的内容について、わかりやすく説明します。また、看護学部ではどのような学習をしていくのかも解説します。	
	健康や命の話	人間にとって健康であるとはどういうことなのか、そしてその健康をサポートするための看護の役割やその実際について講義をします。人間の命の誕生やエンドオブライフ、各ライフステージにおける健康問題やその支援、健康管理の重要性などについて、担当する教員の専門性を生かしてお話します。	
	大学で看護学を学ぶ魅力や楽しさについて	専門学校でも看護について学ぶことはできますが、大学で看護学を学ぶとはどういうことか、看護学を一つの学問として、大学で学ぶ魅力や楽しさ、そしてそこから引き出されるたくさんの可能性について、現在の看護学部の取り組みやこれまでの実績をふまえてお話をします。	
※ 教員の都合により、お受けできない場合があります。ご了承ください。			

学 部	講 義 名	概 要	講 師
社会福祉学部	福祉を学ぶってどうい うこと？	「福祉」は、私たちの生活と密接に関連しており、「特別な人」だけを対象としたものではありません。私たち一人ひとりの生活とつながっている身近な学問といえます。社会福祉学部では、私たちが抱える生活上の問題を改善するための、様々な理論や方法を学びます。社会福祉の分野を概観しながら、「福祉を学ぶ意味」について各分野の専門家である教員が解説します。	学部教員
	データを通して社会福 祉を見てみよう	「社会」を捉え、「社会福祉」の必要性を提示する際、私たち専門家は統計資料や調査報告のデータを用います。マスメディアやSNSといった「誰が発信しているかわからない」データではなく、責任あるデータを用い、根拠に基づいた社会福祉のありようについて、理解を提供します。	
	福祉×心理で何が生ま れる？	「心理学」のイメージは多様で、福祉と心理にどのような関係があるのか想像できないかもしれません。しかし、福祉の現場では心理的な課題を理解し、そのうえで何ができるのかを考え、支援することが求められています。心理学のさまざまな理論や実践と福祉との関係について紹介し、社会福祉学部で心理学を学ぶことへの理解を深めます。	
	プロフェッショナルと しての福祉のしごと	「福祉のしごと」の対象は、家族、集団、地域、社会など、多様です。「福祉のしごと」の専門職として、本学部では社会福祉士・精神保健福祉士のようなソーシャルワーカー、保育士、公認心理師の資格取得のための養成を行っています。プロフェッショナルとしての福祉のしごとの内容や生活上の課題解決における多職種連携の様子、卒業生の進路について、紹介します。	
	学部紹介	社会福祉学部の特徴やカリキュラムの概要、取得可能な国家資格、卒業後の進路、入試制度について紹介します。	

学 部	講 義 名	概 要	講 師
<p style="text-align: center;">ソフトウェア 情報学部</p> <p>※ 教員の都合により、お受けできない場合があります。ご了承ください。</p>	学部紹介	<p>岩手県立大学ソフトウェア情報学部入学から卒業までの学生生活、カリキュラムの概要、入試の仕組み、教育制度、本学で取り組んでいる研究事例を紹介します。</p>	学部 教員
	データ・数理科学	<p>日常生活や産業活動の様々な場面で発生したデータは、情報システムを通じて蓄積されビッグデータと呼ばれ暮らしの向上に貢献しています。また、情報の安全な利用に必要な高度なセキュリティを保つためには、膨大な組合せを考慮する必要があります。このような大量のデータの解析や暗号の組合せには数学をベースとした理論群が用いられ、現代社会ではなくてはならない存在です。本メニューでは、数学や統計学を中核とし、これらの応用を通じて生活や産業の発展を支える技術について説明します。講義は担当教員の専門に沿った内容となります。</p>	
	コンピュータ工学	<p>コンピュータやネットワーク技術の発展とスマートフォン、タブレット等の携帯端末や各種センサーの普及により、あらゆるデータが IoT 技術によりクラウドサーバに集められ、処理された結果がドローンやロボット等により現実社会にフィードバックされるようになってきています。本メニューでは、これらの仕組みを理解し、組み込み機器、サーバ、ネットワーク等の上で効率良く安全に処理するための技術について説明します。講義は担当教員の専門に沿った内容となります。</p>	
	人工知能	<p>自動車の自動運転システムや、監視カメラ映像を用いた防犯システムには、物体を検出・認識するための画像処理技術や、画像の内容を解析・判断するための人工知能や機械学習の技術が使用されています。本メニューでは、これらの技術がどのような仕組みで動作しているかについて原理的などころからそれらの応用について説明します。講義は担当教員の専門に沿った内容となります。</p>	
	社会システムデザイン	<p>現実空間とサイバー空間の相互連関によるデータ駆動型社会を目指す超スマート社会を実現するため、IoT・ビッグデータ解析・AI 等、様々な技術を活用した新たな製品・サービスを生み出すことが期待されています。本メニューでは、社会課題を解決するために ICT をどのように活用するのか、人間中心アプローチやデザイン思考などの課題解決方法やアプリ制作技術のみならず、クラウドや機械学習等の幅広い領域について説明します。講義は担当教員の専門に沿った内容となります。</p>	

学 部	講 義 名	概 要	講 師
<p style="text-align: center;">総合政策学部</p> <p>※ 教員の都合により、お受けできない場合があります。ご了承ください。</p>	法律・行政コース① 法学の視点で社会をみる	<p>法は、一般的な判断基準を定め、社会で起きる紛争を予防・解決しようとするものです。杓子定規で、AI が担える仕事、という感想を持つでしょうか？しかし、法は実際の事情を汲んで適用しなければなりません。さまざまな複雑な事情を切り分けるため、法を駆使する「法学」の視点が必要となるのです。「法学の視点で社会をみる」ことを、本学部の教員（憲法、刑法、行政法、民法、商法、労働法、開発法学）が以下のキーワード（例）に即して講演します。</p> <p>キーワード例：「法はだれを守るのか？」「安全な消費を実現するために」「疑わしきは罪なのか？」「働く人を守るために」「物言う株主はウザいやつ？」など、担当教員の専門分野に応じて設定します。</p>	学部 教員
	法律・行政コース② 対話と連携のまちづくり	<p>人口減少と行政資源の縮小が進む中、もはや政府、自治体だけで政策を運営できる時代ではありません。国が決め、地方が手足になるという伝統的な動員型モデルも機能しなくなっていることは明らかです。では誰がやるのか？ 行政、民間企業、地域コミュニティ、NPO などを含む、日本そして世界の多様な主体の対話と連携によるイノベーションこそ、これからのまちづくりには必須アイテムです。だから「総合政策」なのです。</p> <p>対話と連携のまちづくりの大きな可能性と課題—政治学、政策学、行政学、国際関係などの視点から、現在進行形で学びましょう。</p>	
	経済・経営コース① 経済学への誘い(いざない)	<p>岩手県立大学総合政策学部の経済・経営コースは、岩手県ではトップクラス、東北でも有数の経済学・経営学を学べるプログラムです。その中でも、経済（経済学）分野では、数学的・統計的議論やグラフなどを用いながら、私たちの暮らしに関わる経済のしくみを学び、論理的な思考能力を養成しています。「経済学入門」「地域および国の経済・財政」をキーワードとして、大学での学びの一端を体験していきましょう。</p>	
	経済・経営コース② 経営学への誘い(いざない)	<p>わたしたちの暮らしの中の問題を解決しようとするとき、「経営」の視点は 欠かすことができません。経済、特に地域経済を支える企業の役割は大きなものです。企業は、仕事（雇用）を生み出し、給料（所得）を創出し、地域社会に財（商品）や サービスを提供する存在だからです。では、地域経済を支える担い手の一つである企業が、地域社会で働く人と共に、いきいきと活躍するためには何が必要でしょうか。現代における企業の役割と、そこに現れている企業経営の考え方を知ることがヒントになります。これらのことを「経営学」、「企業と経済」、「企業と社会」をキーワードとして学んでいきましょう。</p>	
	地域社会・環境コース① 社会問題を紐解く	<p>社会問題は、いろいろな原因が絡み合っていて複雑です。ただ「広く浅く」眺めているだけでは、本当の解決策は見えてきません。そこで大切なのが、あえて「ひとつのメガネ（専門的な視点）」に絞って、深掘りしてみることです。深く調べ、考えることで、問題の「本当の正体」が見えてきます。総合政策学部では、そうやって手に入れた「深くて確かな視点」を持ち寄り、みんなで知恵を出し合って、世の中を良くするための「作戦（政策）」を考えていきます。バスや電車の話、防災、地域の歴史、伝統芸能など、身近なテーマを入り口に、一緒に社会問題の「本当の正体」を紐解きましょう。</p>	
	地域社会・環境コース② 身近な自然から地球環境へ	<p>地域社会における人々の様々な活動、それに基づく産業や経済も、健全な環境があつてこそ。「環境」を理解することは、社会や経済を学ぼうえでも欠かせない視点になります。総合政策学部では、動植物の生態、地形や気候、水、そして農林、環境政策まで、多様な角度から「環境」を学ぶことができます。岩手の身近なフィールドの事例から地球規模の環境問題まで、教員それぞれの専門分野をもとに、環境をめぐる世界の広がりをご紹介します。「環境」を入り口に、地域や社会の未来を一緒に考えてみませんか。</p>	

学 部	講 義 名		概 要	講 師
盛岡短期大学部 生活科学科 (生活デザイン専攻)	暮らしを豊かにするデザインの話	住まい	建築は、地域の歴史や風土、あるいは建て方や材料などの違いにより、様々な建物を創り出します。その中でも住宅は、「人間の生活」をつくるものです。本講義では、住宅デザインと暮らし方の変遷や、快適で省エネルギーな住宅の設計手法などについて、わかりやすく講義します。	学部教員
		ファッション	ファッションは、多様化し複雑になっていく社会を反映しています。本講義では現代ファッションを理解するため、ファッションの変遷や服飾デザインの機能的・造形的側面についてわかりやすく講義します。	
		色彩	色は私たちの生活に彩りを与え、心を豊かにしてくれます。また、様々なデザインを考える上で視覚的に重要な役割をもっています。本講義では私たちの生活における色の見え方や配色デザイン、ファッションやインテリアについて、わかりやすく講義します。	
盛岡短期大学部 生活科学科 (食物栄養学専攻)	食の話		高齢社会を迎えた現在、子どもの頃からより良い食生活を目指すことが健康維持には重要です。そのため、身体状況に適した食べ物の取り方、栄養素の働き、食品の成分や安全性の知識および生活に潤いを与える調理や食文化などを知る必要があります。これらの専門分野の教員がわかりやすく講義します。	
盛岡短期大学部 国際文化学科	日本文化理解入門		人・もの・技術や情報が国境を越えて行き交うグローバル化時代を迎えている現在、異文化理解のみならず、自文化理解も求められています。その基盤となる日本あるいは岩手の歴史、宗教、思想、言語、文化、社会等について、比較文化的視点を交えて講義します。	学部教員
	異文化理解入門	アジア文化	グローバル化が急速に進む今、日本と欧米との関係だけではなく、アジアとの関係も重要になっています。世界の現状を知り、理解を深めるために、日本との関わりを踏まえてアジア、ヨーロッパやアメリカの歴史、宗教、思想や民俗についてわかりやすく講義します。	
		西洋文化		
コミュニケーション入門		国際化社会が進展する中で、ビジネスの世界のみならず、地域に暮らす外国人と接する機会が増えています。外国人との円滑なコミュニケーションを図る上で必要なことについて、わかりやすく講義します。		